

中五師団歩兵中一四四連隊

寺田章雄

年月日	概	要
昭五 七 七	軍令陸甲中一九号に依り、歩兵中一四四連隊の編成を令せられ	
八 七	編成を完結す	
九 七	宮中に於て、天皇階下より軍旗一旗を勅語と共に親授せらる	
天 九 八	鯉中一五編成六号臨捕中三〇一編成を令せられ	
二 五	編成を完結す	
天 二 四	南海支隊の戦斗序列を令せられ連隊は師団長、陸軍中將、竹内寛の隷下を脱し	
三 二	大本營直轄たる南海支隊長陸軍少將、堀井富太郎の隷下に入る	
三 二	連隊は「ガム」島攻略の爲、母島出航	
三 二	末明「クワム」島上陸	
三 二	島内の掃蕩を完了す我が損害ナシ	
三 二	末明「ニューブリテン」島に上陸	
三 二	「ラパウル」市及び附近軍事施設を占領す、我方損害 戦死傷 約一〇	
三 二	連隊は一部(Ⅱ)を以て「サラモア」を攻略す、我方損害 戦死六	
三 二	負傷二六	
三 二	「茂」作戦(珊瑚海々戦)に参加す、我方損害なし	

ワの木ム日

(424)

0434

年	月	日	概	要
昭	五	二〇	南海支隊はカ一七軍の隷下に入る	
八	七	二九	イリノ作戦(イモレスビー) 攻略作戦に参加	
八	七	三〇	東部ニューギニア 作戦	
八	七	三三	乾進作戦	
一	七	三三	連隊長山本大佐の指揮する約三〇〇名「バナ」附近の戦いに参加玉碎す	
			我方損害戦死及び戦傷病死者(戦死確認を含む) 約三三三〇名	
			支隊長 堀井小將、連隊長 山本大佐 戦死戦傷病に依り内地還送患者、約四〇〇名(「ゴニエ」 「ニア」 「ロモン」 作戦死歿者取扱いに関するカ一八軍軍司令官の定めたる特別に依り処理す)	
カ	三	三三	カ一八軍の隷下に入る	
カ	七	二二	連隊主力は「ラバウル」に到着	
八	八	二〇	南海支隊の編成を解除せられ、カ一五軍司令官の隷下に入る	
八	七	二六	輸送並に「アキヤタ」愛城の確保並に防衛強化	
			より三船団を以て「ラバウル」港出航 「ビルマ」に向い乾進を開始す、途中	
			広山社(連隊主力)は	
			高雄港外に於て敵魚雷の攻撃を受け高雄港に上陸、約一ヶ月待機す	
八	九	二二	「パグー」に到着、カ一五軍直轄よりカ五五師団長の隷下に入る	
三	三	三三	連隊は「ランゲーン」に集結を完了し、遂次「マユ」半島に向い前進を開始す	

年月日	概	要
五八五	イマエ半島の防衛、甲部隊と交代、連隊主カ(カサ三大隊欠)は「シノ」出発	
五六一	師団直轄より歩兵団長陸軍少将 櫻井徳太郎の隷下に入る	
五六一	「ウ」号及び「完」作戦に参加	
五六一	我方損害 将 枝 下才官 突 計	
五六一	戦死 五 七三 七八	
五六一	戦傷死 二 四三 四五	
五六一	戦病死 一 二〇 六八六 七〇九	
五六一	生死不明 ナシ	
五三三	即目直轄となり「ハ」号作戦に参加	
五三三	我方損害 将 枝 下才官 兵 計	
五三三	戦死 一八 三〇 三二〇 三六八	
五三三	戦傷死 一 三三 三四	
五三三	戦病死 三 二一 三四	
五三三	生死不明(兵一)(「カ」カサ分) 附近の戦斗に於て、團部中尉の指揮下に在り乍候として、敵情捜索中敵に拉致されたるもの如し(土民言)	
五三三	遂次、到着する隷下部隊を以て、「イマエ」半島の警備を棚橋部隊(歩兵第一連隊)と交替す	

1126

0436

年月日	概	要
五 三	<p>「バセイン」に到着西南地区（「バセイン」河以西）の防衛に任ず</p> <p>陸海連合機動演習参加の爲、連隊主カ（中尉）各集成中隊及び機銃の一部II</p> <p>歩兵砲小队（一分隊）鉄血疾風隊要員を含む）欠は「カラダン」出発</p> <p>「ピンマナ」附近の戦斗に参加（II欠）</p>	<p>戦死 三</p> <p>戦傷死 〇</p> <p>戦病死 〇</p> <p>生死不明 三</p> <p>計 四七</p> <p>五三</p>
五 六	<p>「トングー」道々標 首三哩 至ニ五哩の崩戦斗に参加</p> <p>「トングー」附近に残置せし岩崎大尉以下、約二〇名を四哩附近に於て、尊</p> <p>握す</p> <p>忠兵衛長の隷下に復帰す</p> <p>兵隊主カの転進に伴い其の任務を継承し、原集団長の指揮下に入る、中ニ大隊</p> <p>原所居に復帰す</p>	<p>計 八七</p> <p>一〇一</p>

(427)

0437

この外印刷

年月日	概	要
五〇	カニ大隊及び隊貨率領進及中の水口中尉以下六六名 班ニ三名「モーナ」道々標ニ三哩に到着	米田激伍中尉以下行季
五	十哩に於て、掌握す、但し、カニ大隊八九哩附近に位置し、師團の真蟻となる	
六	其の任務を祭兵団山内部隊に移譲し「モーナ」道々標に一七哩附近に集結を南	
六	達隊は、鳳集団の直轄となり転進を開始「イシッタ」河東岸地区に出で、更に	
六	「ピリン」河谷を経て、	
八	「モールメン」に集結を完了す	
	我方損害	計
	将校	下士官
	兵	計
	戦死	三
	戦傷死	〇
	戦病死	〇
	生死不明	一
		五
		七三
		七九

(428)

0438

年月日	概	要
昭和三十四年八月四日	終戦	
八月七	「モールメン」南方九哩に於て、軍旗奉還式を挙行引続ぎ軍旗を奉焼す	
八月三	より師団主力に追及の為「モールメン」出発	
八月六	仏印「ロメアス」(「ポノペン西北九〇料」)に集結を完了す	
八月二	同地に於て、先行の寺尾中尉以下一七六名を掌握す	
八月二	「ポノペン」市内の整備	
八月二	「ロメアス」に於て、英軍に依り、武装解除を受け公私金貴金属品の回収を行	
八月二	う	
八月九	最後集結地に向い「ロメアス」出発	
八月三	「ロンハイ」(「サンジマツク」東北方一五料)に集結を完了す	
八月一	以降「盤」及び「克」作戦に於て、我方損害	
	将校	下士
	死	一三
	戦傷	一七
	戦死	一七
	戦病	九
	生死不明	一
	六三四名あり	四八
		五〇
		二〇六
		九
		計

(429)

0439

年月日	概要
	<p>歴代部隊長</p> <p>初一代 陸軍大佐 楠瀬正雄</p> <p>連隊長代理 陸軍中佐 塚本初雄</p> <p>初二代 陸軍大佐 山本重省</p> <p>初三代 陸軍大佐 吉田章雄</p> <p>部隊事情精進者</p> <p>兵庫県美方郡湯泉町熊谷六八〇番地 川本保一</p> <p>香川県木田郡下高岡村三八二番地 松田清一</p> <p>愛媛県松山市朝美町署七三番地 水口川藏</p> <p>高知県高岡郡新宇佐町宇佐一六九五番地 島田勇喜</p> <p>陸軍准尉</p>

(1430)

0440